

禁複製



石巻市との連携協定について

2026年7月9日

- 石巻市と株式会社レノバとの「ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定」締結式を令和8年4月22日に石巻市役所で行いました。
- 趣旨
 - ゼロカーボンシティの実現に向けて、地域の脱炭素化の実現及び持続可能な地域社会の構築に寄与することを目的とする。
- 内容
 - 連携事項
 - (1)地域の脱炭素社会に向けた取組に関すること
 - (2)再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大の促進に関すること
 - (3)脱炭素社会の実現に向けた環境教育活動に関すること
 - (4)その他本協定の目的を達成するために必要な事項
- 協定期間
 - 令和8年4月22日から1年間（以降1年ごとの自動更新）

（出典）石巻市ホームページ

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10301000/agreement/renova.html>



写真. 協定式の様子

ミッション

グリーンエネルギー事業を地域発展シナリオに
組み入れゼロカーボンシティ実現に貢献

ビジョン

イノベーションを生み出す魅力ある街の魅に

バリュー



現在

ステップ1：
グリーンエネルギー
の安定供給



ステップ2：
グリーンエネルギーによる
地域貢献



ステップ3：
脱炭素社会実現による
地域レジリエンス強化



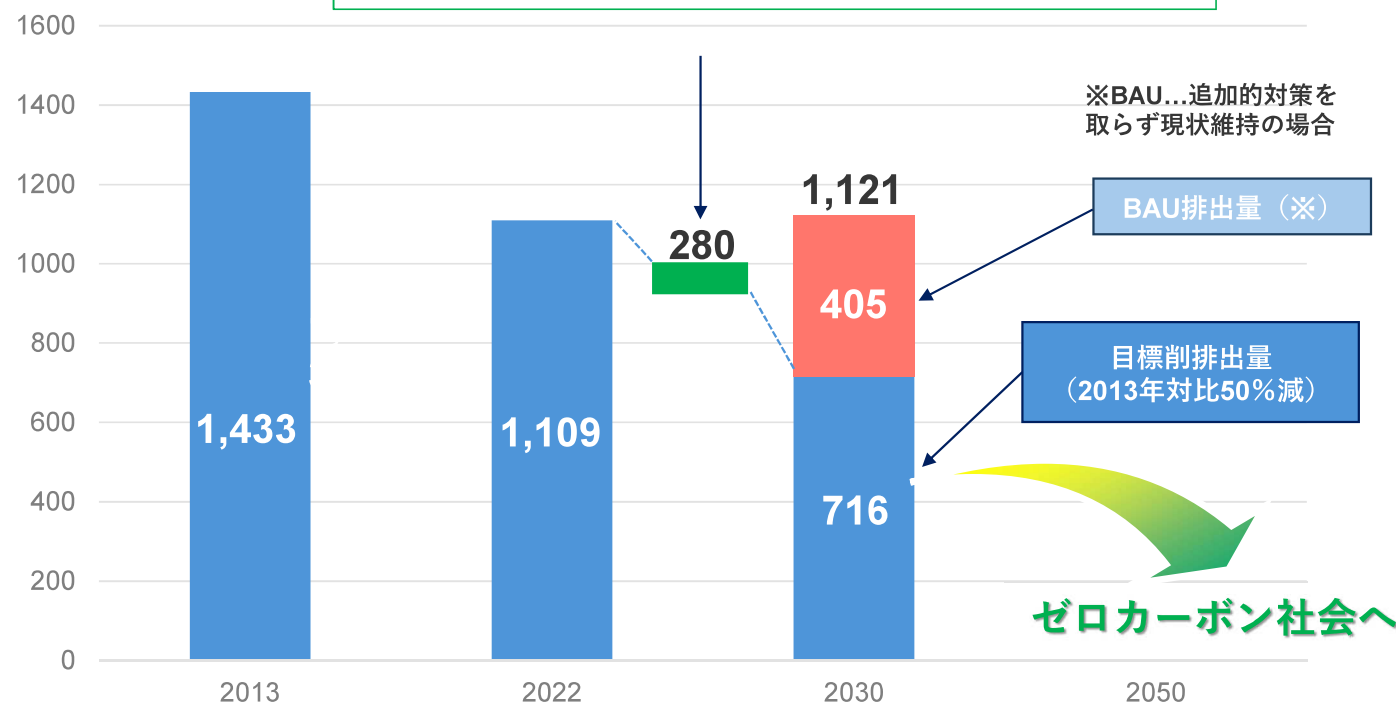
未来



市域CO2 排出量・削減目標（石巻市環境基本計画から抜粋）

千t-CO2

石巻ひばり野バイオマスエナジーによる脱炭素効果



2024年3月操業開始

石巻ひばり野バイオマスエナジー

既設の発電所の化石燃料



地下から掘起こした化石燃料を燃焼させると、大気中のCO2濃度が増加する。

再生可能な木質バイオマス



待機中のCO2を吸収してできたバイオマスを燃焼させても、大気中のCO2濃度は増加しない（京都議定書）

（28万tの削減として）一般家庭62,000世帯分のCO2削減効果

■人材育成支援（実績）

- ー石巻工業高校インターンシップ
- ー多賀城高校フィールドワーク
- ー石巻西高校街ミッション課外授業
- ー石巻専修大学シェアリングプログラム出展
- ー宮城県高校理科学研究会勉強会
- ー環境フェア出展（来場者への再エネ説明）

■見学受け入れ

2025年度 発電所一般見学 254名



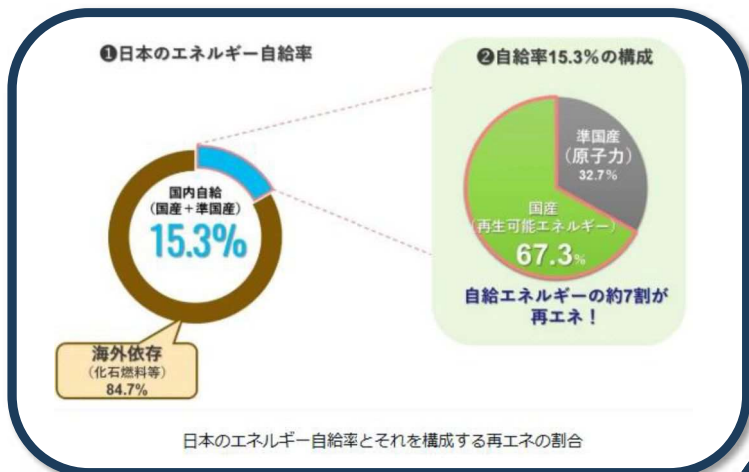
■地元雇用(2026年2月末時点)

 石巻ひばり野バイオマスエナジー	発電業務統括	13名（内地元雇用7名）
太平電業株式会社	保守メンテナンス	13名（内地元雇用5名）
株式会社関電パワーテック	運転オペレーション	19名（内地元雇用6名）
計		45名（内地元雇用18名）

■地元企業・団体とのお取引

- ー発電所の運営、オペレーションの為、地元企業10社以上のご協力を頂いております。





- 再エネは地産地消エネルギー
- 自給エネルギーの約70%が再エネ
 - エネルギー自給率を増やす重要な選択肢が再エネの増大

国産エネルギーの内訳

- ・ 太陽光：5.5% ☀️
- ・ 水力：2.5% 💧
- ・ 国産バイオマス：0.5% 🌳
- ・ 風力（陸上・洋上）：0.5% 🌬️
- ・ 地熱等：0.5% 🔥



■エネルギー源多様化の必要性

- 中東依存など地政学リスク回避に向けた取組
- バイオ燃料は北米、東南アジアからの輸入、将来的には国産木質チップ検討



■災害時エネルギーを絶やさない取組

- エネルギー源多様化と地産地消エネルギーがレジリエンスを高める
- 発電所内EV充電器の活用等により地域の蓄電意識の向上に貢献

石巻ひばり野バイオマスEV充電器





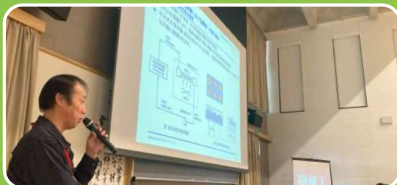
1. 地域の脱炭素社会に向けた取組に関すること

- ・ゼロカーボンシティ概念の地域浸透に向けた行動
- ・石巻市環境基本計画に沿った活動
- ・脱炭素社会実現への新たな街づくり等の提案



2. 再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大の促進に関すること

- ・再生可能エネルギー普及への発信
- ・地域理解の為に石巻ひばり野バイオマス発電事業の見学受入
- ・エネルギー地産地消に向けた地域企業との連携



3. 脱炭素社会の実現に向けた環境教育活動に関すること

- ・石巻市環境フェアへの協力、再生可能エネルギー・資源循環のフォーラム等開催
- ・地域教育機関等との連携による脱炭素人材育成支援
- ・地元での環境プロ人材の雇用・拡大



4. その他本協定の目的を達成するために必要な事項

- ・防災・災害時レジリエンス強化へのグリーンエネルギー視点での提言
- ・環境に関する地元企業や団体との協力
- ・植樹等環境美化への取組

概要

設立	： 2000年5月30日
代表取締役	： 会長 川名浩一 社長CEO 木南 陽介
資本金	： 11,341百万円(25/12)
売上高	： 70,246百万円（連結） （25年3月期）
従業員数	： 320名(25/12)

沿革

2000年：株式会社リサイクルワン設立
2006年：プラスチックリサイクル事業に参入
2012年：太陽光発電事業に参入
2013年：商号を株式会社レノバに変更
2016年：バイオマス発電事業に参入 プラスチックリサイクル事業を譲渡
2017年：東京証券取引所マザーズ市場に株式上場(証券コード 9519)
2018年：東京証券取引所 市場第一部に指定替え(2月23日)

ミッション／経営理念

グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し、重要な社会的課題を解決する

ビジョン／目指すべき企業の姿

日本とアジアにおけるエネルギー変革のリーディングカンパニーとなること

取締役会メンバー



取締役会長 川名浩一



代表取締役社長CEO 木南 陽介

* 専門性を要する社外取締役4名ならびに監査役4名を含む計12名

石巻ひばり野バイオマス発電所の概要



木質ペレット



パームやし殻



木質チップ



30,000トン



10,000トン

項目	内容
発電規模	74, 950KW（一般家庭約17万世帯分）
燃料	・木質ペレット（北米、ベトナム等から輸入） ・PKS（パーム椰子殻）（東南アジアから輸入） ・木質チップ（国内未利用材）～将来計画
環境アセス	宮城県条例に基づき実施。 2019年10月15日評価書縦覧終了
冷却方法	空気冷却方式
土地	宮城県石巻市雲雀野地区 発電所用地4.1ha 燃料置き場4.4ha
港	雲雀野中央埠頭（水深13m） 雲雀野北埠頭（水深10m）
スケジュール	営業運転開始：2024年3月28日

これからも
地元の皆様と共に

